

当月のS&P MLP 指数の動き

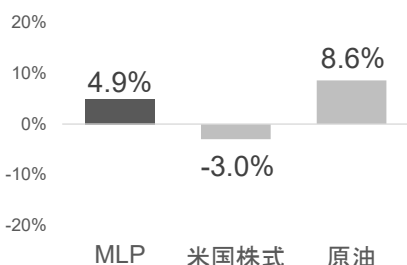
4月のS&P MLP 指数(米ドルベース/トータルリターン)は、前月末比+0.8%と5か月連続での上昇となりました。

米国において金融政策正常化が加速するとの観測を背景に長期金利が上昇基調となる中、米国株式市場は下落基調となりました。しかしながら、MLPについては、原油価格の上昇などが下支えとなる中、上昇基調となり、S&P MLP 指数(米ドルベース/トータルリターン)が20日に2015年以来の高値を付けました。ただし、下旬にかけては、中国・上海市のロックダウン(都市封鎖)の長期化懸念などを背景に、米国株式市場および原油価格が下落したことから、MLPも下落する展開となりました。

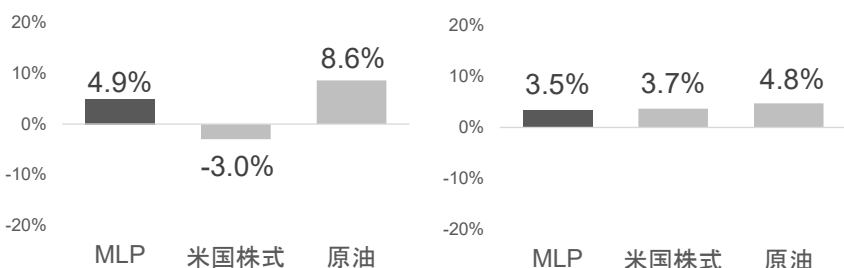
過去3カ月の主要指標の月次騰落率

(米ドルベース、トータルリターン)

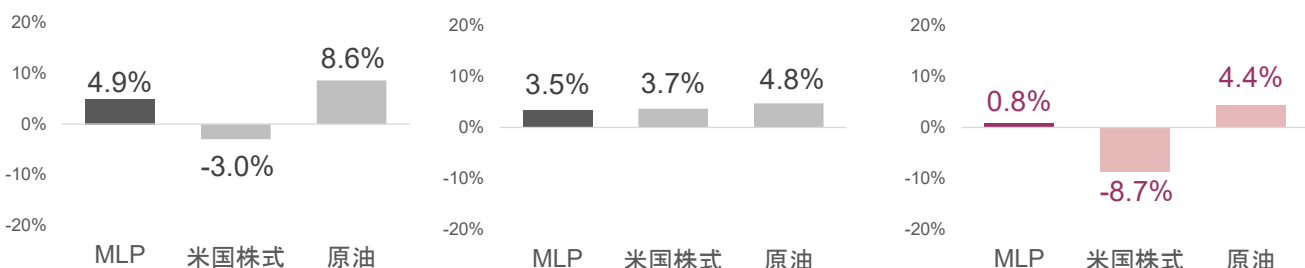
2022年2月



2022年3月



2022年4月



主要指標の動き

MLP:S&P MLP 指数、米国株式:S&P 500 種指数、原油:WTI

休場の場合は、直前の営業日のデータを使用	指数値	指数値	指数値	指数値	騰落率		
	当月末	前月末	3か月前月末	前年末	前月末比	3か月前月末比	前年末比
	2022/4/30	2022/3/31	2022/1/31	2021/12/31			
S&P MLP 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	5,460.47	5,416.07	4,989.98	4,495.14	0.8%	9.4%	21.5%
プライスリターン	1,267.76	1,267.58	1,179.69	1,071.99	0.0%	7.5%	18.3%
S&P 500種 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	8,696.65	9,527.46	9,469.92	9,986.70	-8.7%	-8.2%	-12.9%
プライスリターン	4,131.93	4,530.41	4,515.55	4,766.18	-8.8%	-8.5%	-13.3%
S&P 500種 エネルギー株指数(米ドルベース)							
トータルリターン	1,188.53	1,207.12	1,034.14	868.26	-1.5%	14.9%	36.9%
プライスリターン	572.41	581.93	502.93	422.74	-1.6%	13.8%	35.4%
S&P 米国 REIT 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	1,798.15	1,881.56	1,824.04	1,959.66	-4.4%	-1.4%	-8.2%
プライスリターン	387.38	405.76	395.95	425.81	-4.5%	-2.2%	-9.0%
米国ハイイールド債(ICE BofA 米国ハイイールド・インデックス(米ドルベース))							
トータルリターン	1,452.69	1,507.53	1,535.39	1,578.79	-3.6%	-5.4%	-8.0%
プライスリターン	69.46	72.44	74.48	76.94	-4.1%	-6.7%	-9.7%
米国10年国債利回り							
	2.93%	2.34%	1.77%	1.51%	0.59	1.16	1.42
原油(WTI) 米ドル/1バレル当たり							
	104.69	100.28	88.15	75.21	4.4%	18.8%	39.2%
天然ガス先物 米ドル/百万btu当たり							
	7.24	5.64	4.87	3.73	28.4%	48.6%	94.2%
米ドル(対円)							
	129.70	121.70	115.11	115.08	6.6%	12.7%	12.7%

※「米国10年国債利回り」の騰落率は、変化率(%)ではなく、利回りの変化幅を示しています。
(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)
※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

当月の出来事いろいろ

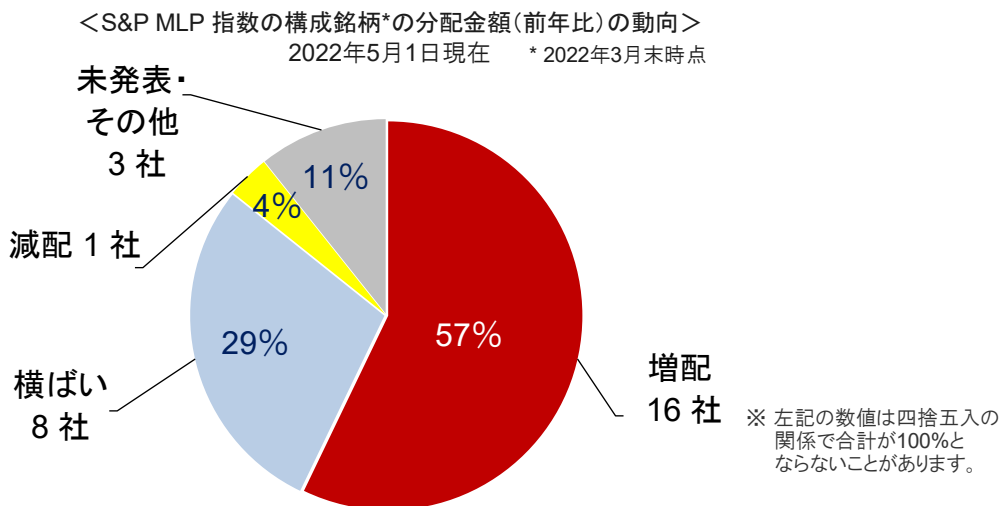
- 6日、IEA(国際エネルギー機関)が加盟国の石油備蓄の追加放出を決定したことを受け、原油価格は大きく下落し、WTI原油先物価格が1バレル=96米ドル台となった。
- OPEC(石油輸出国機構)の事務局長がEU(欧州連合)に対し、石油市場はOPECが統制できるものではない、と増産に消極的な姿勢を示したと報道されたことなどから、12日に原油価格は大きく反発し、WTI原油先物価格は100米ドル台を回復した。その後も原油価格は上昇基調を続け、18日には、産油国リビアで、首相退陣を求める集団による操業妨害のため、国営石油会社の業務に支障が生じていると報じられたことなどを受け、WTI原油先物価格が108米ドル台となった。ただし、19日、IMF(国際通貨基金)が世界経済見通しを下方修正したことを受け、原油価格は急落した。
- パウエルFRB(米連邦準備制度理事会)議長のタカ派(金融引き締め)に積極的姿勢が意識される中、中国・上海市のロックダウン長期化懸念などもあり、22日、米国株式市場および原油価格が大きく下落した。また週明け25日には、新型コロナウイルス感染拡大を受けて、北京市の一部地域が封鎖されたとの報道を受けて、需要減少懸念などから原油価格が大幅続落となった。
- 28日、ドイツが、ロシア産原油の全面禁輸というEUの提案への反対を撤回する方針との報道などを受け、需給ひっ迫観測が強まったことから原油価格が大きく上昇した。

今後の注目点

- 2022年1-3月期のMLPの決算発表が注目される。
- 米国の金融政策のほか、中国における新型コロナウイルスの感染拡大状況および、中国政府による景気対策の行方が注目される。

MLPの分配金動向

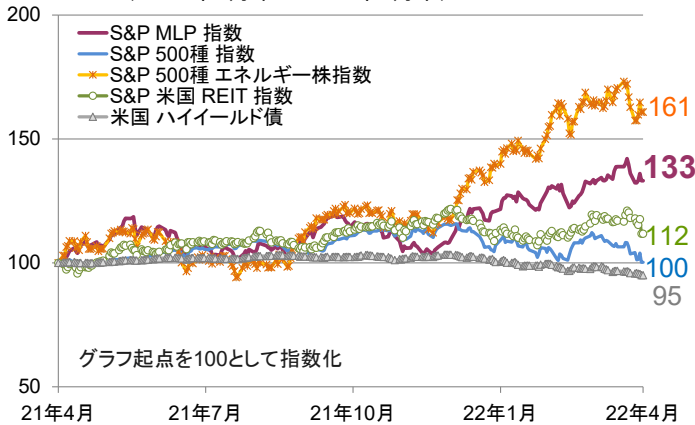
MLP各社は決算発表に先立ち、その期の分配金を発表するのが一般的です。4月から公表が始まっているMLPの2022年1-3月期の分配金は、5月1日現在で、指数構成銘柄(28銘柄、2022年3月末時点)のうち、**25社の発表が終了しており、前年比での増配が16社、横ばいが8社、減配が1社**となっています。



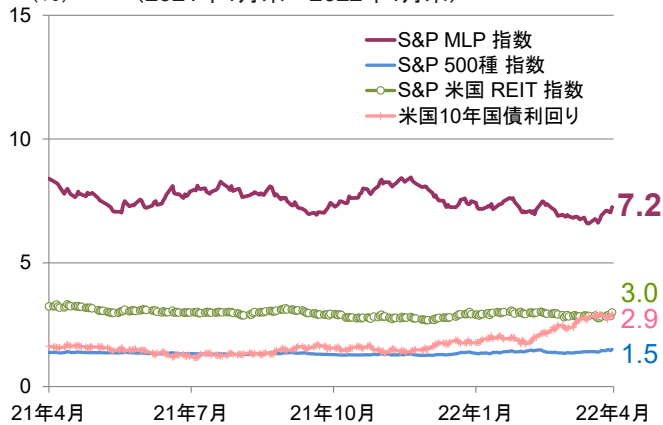
信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

■過去1年の指数の推移 (米ドルベース/トータルリターン)
(2021年4月末～2022年4月末)



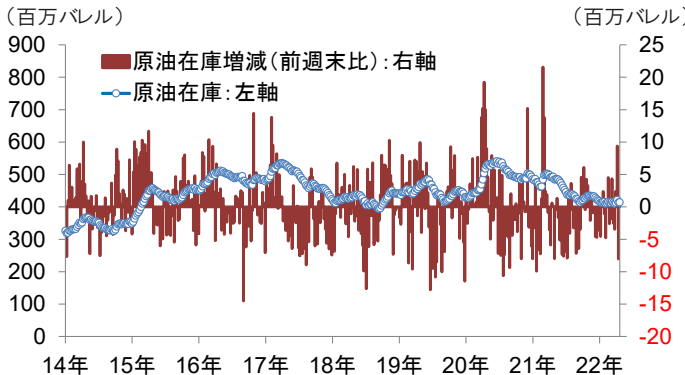
■過去1年の各資産の利回り
(2021年4月末～2022年4月末)



※各資産のリスク特性はそれぞれ異なるため、利回りだけで比較できるものではありません。
 ※上記利回りは切り捨てにて端数処理しています。
 ※各指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

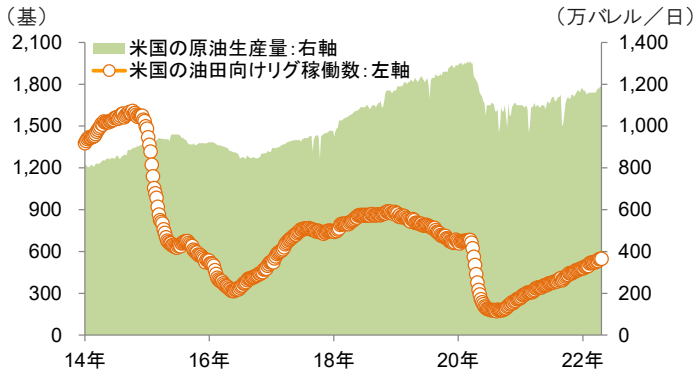
■米国の原油在庫

(2014年1月第1週末～2022年4月第4週末)



■米国の原油生産量と油田向けリグ稼働数

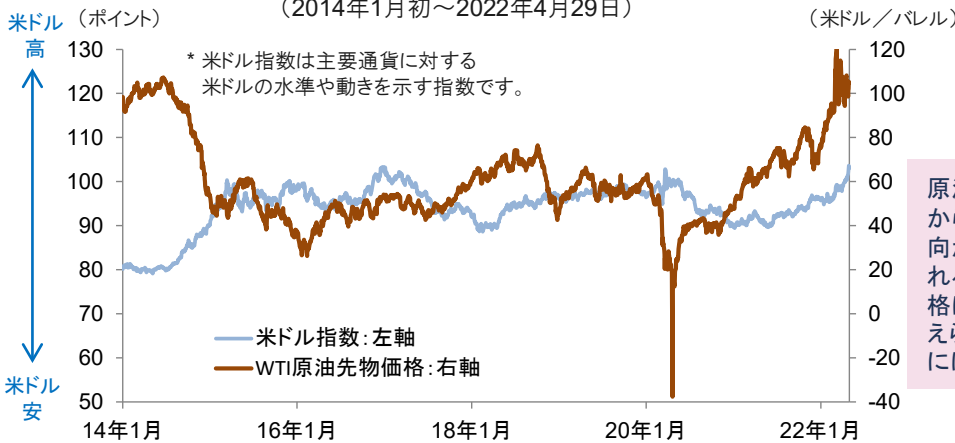
(2014年1月第1週末～2022年4月第4週末)



原油価格は、原油需給の影響を大きく受けます。一般的に、原油在庫が増えれば(減れば)、需給緩和懸念(引き締め期待)から、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。また、油田向けのリグ稼働数が増え(減り)、原油生産量が増える(減ると)、需給緩和と懸念(引き締め期待)などから、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。

■原油価格と米ドル指数*

(2014年1月初～2022年4月29日)



原油は、米ドル建てで取引されることから、米ドル相場の影響を受ける傾向がみられます。米ドル安基調に振れる場合、割安感などにより、原油価格に押し上げ圧力が働く可能性が考えられることから、米ドル相場の動向には注視が必要です。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)
 ※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。